K-BALLET COMPANYが3/5に贈るYouTube特別イベント 熊川哲也プレミアム・ライブトーク/最新作「クラリモンド」全編 YouTube にて無料配信決定!

3月5日、熊川哲也の誕生日という節目を記念し、YouTube K-BALLET公式チャンネルにて、2つの無 料配信企画を開催いたします。

貴重な機会を多くの方にぜひ広く告知いただけますようお願い申し上げます。

■K-BALLET YouTube Channnel特別企画 熊川哲也 プレミアム・ライブトーク開催!

芸術監督熊川哲也の声をお届けする K-BALLETChannel特別企画 を開催いたします。これまで応援してくださった多くの方への感謝を 込めて、熊川本人と半生を振り返りながら、その尽きぬ思考の全貌 に迫ります。当日は、貴重な動画や写真もご紹介するほか、 コメント 欄で質問も募ります。

特別な機会をどうぞお見逃しなく。

日時:2022年3月5日(土)16時~

Kバレエ公式 YouTubeチャンネル

https://youtu.be/bP1ZTJYHidw にてライブ配信(無料配信)

*アーカイブ配信の予定はございません



■K-BALLET COMPANY 熊川哲也演出·振付最新作 1日限定無料配信!

1月末に上演された話題の新作『クラリモンド~死霊の恋~』全編。 物語バレエによる新境地開拓と呼び声が高い傑作を、YouTubeにて 特別に無料配信いたします。

1日限定の特別公開となりますのでお見逃しなく!

公開日時: 2022年3月5日 (土) 0:00~23:59

Kバレエ公式YouTubeチャンネル

https://youtu.be/Ifem4MmVCH8

TBS公式YouTubeチャンネル YouTuboo

https://voutu.be/XVvh7Gic7x4

『クラリモンド~死霊の恋~』全編

演出 振付:熊川哲也

出演:クラリモンド:日髙世菜 ロミュオー:堀内 將平

セラピオン: 石橋 奨也 バーバラ: 浅川紫織

ほか Kバレエカンパニー

指揮:井田勝大 ピアニスト:塚越恭平 管弦楽:シアター オーケストラ トーキョー

収録日時:2022年1月30日(日)



「クラリモンド〜死霊の恋〜」全編(2022年1月初演)

演出・振付 熊川哲也 音楽:フレデリック・ショパン

熊川哲也が19世紀フランスの作家テオフィル・ゴーティエによる短編小説「死霊の恋」に着想を得た同名のバレエ作品を発表したのは2018年のこと。ショパンの「ピアノ協奏曲第1番」第1楽章の調べに乗せ綴られたのは、死してヴァンパイアとなった美しき娼婦クラリモンドと、彼女に魅入られた若き聖職者ロミュオーの禁断の恋物語。熊川はゴーティエの描いた夢現の世界を、持ち前の卓越した感性とドラマツルギーにより1場の作品として構成、ロマン主義の薫香漂う切なくも美しいラブストーリーに仕立て上げた。

そして、約20分の小品ながら観客の胸に忘れがたい感動の記憶を刻み付けたあの絶賛の初演から 4年—— ついに満を持しての全編版が実現!『クラリモンド〜死霊の恋〜』全編として新たな命を得ることになる。

ゴーティエの原作にはバレエ作品として昇華させるにふさわしい魅力的な要素が数々秘められていると熊川は言う。それこそが、小品創作時からすでにして振付家に全編化という展望を抱かせた理由に他ならない。本作では、小品で描かれた物語の前段となるストーリーを新たに加筆、生前のクラリモンドとロミュオーとの出会いと今生での別れも描き出され、生死を超える愛のドラマがより鮮明に立ち上がることになる。稀代の振付家・熊川が挑む"完成された名作"への新たなアプローチは、我々をどんな境地へと運んでくれるのか。ぜひその目で確かめてほしい。

STORY

19世紀末パリ。稀代の高級娼婦と名高いクラリモンドは、自らがヴァンパイアの血筋を引くことを気付かずに暮らしている。その正体を知るのは、彼女の後見人であり、娼館のマダムであるバーバラただ一人。その娼館に初めて訪れたのは若き修道士ロミュオー。神父就任の式を目前に控えた彼は、俗世を知らぬまま聖職者として生を全うすることへの葛藤を抱き、修道院から逃走、夜の街へとやって来たのだ。

バーバラは言葉巧みに彼を娼館へと誘い、クラリモンドと引き合わせる。娼館の華やかな饗宴に心を躍らせるロミュオーは、 次第に彼女に惹かれていくのだった。

だが、ロミュオーの居場所の噂を聞きつけた修道院長の乱入により事態は急変する。彼は、クラリモンドの正体に気づきロミュオーを連れ戻そうとしたものの、彼女の悪魔的力に打ちのめされ娼館を後にする。

愛し合う2人は夜をともにするが、運命には抗えず、引き裂かれる。せめてもと、ロミュオーは、クラリモンドのヴェールを握り締め館を離れるのだった。

修道院長との一件以来、体調の異変を感じていたクラリモンドは、ついに容体が悪化し、バーバラの腕の中で、早すぎる死を迎える。

そんなある日、失意のうちにいるロミュオーがクラリモンドが残したヴェールを握り締めながら眠りにつくと...。

◆リリース内容に関する宣伝材料はこちらから ダウンロードいただけます。 https://onl.la/9pe3uw1



≪本件に関するお問合せ≫

株式会社K-BALLET コーポレート・コミュニケーション部 担当 安藤・奥田 TEL: 03-5805-8020 FAX:03-6801-5090

奥田:k okuda@k-ballet.co.jp 安藤:k ando@k-ballet.co.jp



熊川哲也 Tetsuya Kumakawa 芸術監督 Artistic Director of K-BALLET COMPANY

北海道生まれ。10歳よりバレエを始める。1987年、英国ロイヤル・バレ工学校に入学。1989年、ローザンヌ国際バレエコンクールで日本人初のゴールド・メダルを受賞。ヨーロピアン・ヤング・ダンサーズ・オヴ・ザ・イヤー・コンクール(パリ)でも金賞を受賞。同年、東洋人として初めて英国ロイヤル・バレエ団に入団し、同団史上最年少でソリストに昇格。1993年、プリンシパルに任命された。在団中にボリショイ・バレエ団の『ジゼル』をはじめ各国のバレエ団に客演。1996年から1998年にはセルフ・プロデュース公演Made in LONDON」を開催している。1998年に英国ロイヤル・バレエ団を退団し、1999年、Kバレエカンパニーを創立。

これまでに、プティ振付『カルメン』、マクミラン振付『三人姉妹』、自身のプロダクション『ジゼル』『眠れる森の美女』「白鳥の湖』『コッペリア』『ドン・キホーテ』『くるみ割り人形』『海賊』『ロミオとジュリエット』『シンデレラ』『ラ・バヤデール』『カルメン』などを上演。2004年にはニューヨークのメトロポリタン歌劇場にてアシュトン振付『ラプソディ』を踊り高い評価を受ける。2006年、上海大劇院にて『ドン・キホーテ』を上演・主演。振付作品には、『ベートーヴェン第九』『ウォルフガング』『パッシング・ヴォイス』『シンプル・シンフォニー』などがある2017年には完全オリジナル作品『クレオパトラ』を、2019年には『カルミナ・ブラーナ』『マダム・バタフライ』を世界初演し、成功をおさめる。

2004年、『白鳥の湖』の演出/振付/出演に対し、第回朝日舞台芸術賞を受賞。2005年、第55回芸術選奨文部科学大臣賞(舞踊部門)を受賞。2006年、Kバレエカンパニーとして『ドン・キホーテ』『くるみ割り人形』の舞台成果に対し、第5回朝日舞台芸術賞を受賞。2012年1月、Bunkamuraオーチャードホール芸術監督に就任。2015年、日本におけるバレエ教育や人材育成に大きな功績を残したと評価され、「第4回モンブラン国際文化賞」を受賞。2018年、『クレオパトラ』の振付・演出に至る長年の功績に対し、毎日芸術賞特別賞を受賞。2013年、紫綬褒章受章。



Kパレエ カンパニー K-BALLET COMPANY

1999年、英国ロイヤル・バレエ団のプリンシパルとして世界の頂点を極めたバレエダンサー熊川哲也が、自ら芸術監督を務めるバレエカンパニーを設立。設立当初より古典全幕作品を中心としたレパートリーに意欲的に挑み、熊川自身が古典に対して抱いてきた敬意と理想を形にしたプロダクションを「熊川版」として次々と発表。

『白鳥の湖』や『くるみ割り人形』といった古典バレエの名作をはじめ、オペラ原作の『カルメン』、台本・音楽から全ての構成を手掛けた完全オリジナル作品『クレオパトラ』『蝶々夫人』を全幕バレエとして初演。そのレパートリーは全幕だけでも12作品を数える。2005年には、専属オーケストラとしてシアターオーケストラトーキョーを設立。カンパニーの成長と発展は、国内外での評価にも顕著に結び付き、クラシック・バレエ界として初の朝日舞台芸術賞受賞や、「ローザンヌ国際バレエコンクール」に日本のバレエ団で初めてオフィシャルパートナーカンパニーとして提携するな概川が築き上げてきた確たる基盤のもと、世界的文化価値を継承するプロフェッショナルカンパニーとして進化し続けている。2018年、Bunkamuraオーチャードホールとフランチャイズ契約を締結。

公式ウェブサイト https://www.k-ballet.co.jp/

フェイスブック https://www.facebook.com/kballet.company/

ツイッター @kballetofficial インスタグラム k ballet company official